景山町長は「町民が主役」元気を出してまちづくりをしたいと語る

地域が元気になるために

▼まちづくり座談会

これからの町の財政の見通しや、まちづくりなどについての説明、そして、皆さんと意見交換を行う『まちづくり座談会』を、11月24日に山村開発センターで、25日に町公民館で開きました。

座談会には、根雨・黒坂両会場に約50人が参加。町からは町長と教育長、各課長が出席しました。

景山町長のあいさつに続き、山形総務課長が、平成28年度までの一般会計の収支推計について説明。その後、町の各課長から、現在行っている事業や今後のまちづくりへの取り組みなどについて説明がありました。

▼国の緊急経済対策交付金の活用について

平成20年度と平成21年度中に、国民生活の不安解消や地域活性化などの景気対策として、日野町には総額4億4600万円が交付されました。

これを活用し、道路や橋の整備をはじめ、町立学校の整備、地上デジタル放送施設の整備、リバースポーツの振興など、安心・安全な暮らしや地域の活性化を目指した57の事業を行っています。また、緊急雇用対策として、観光振興、農地の保全管理など10の事業を行っています。

▼元気なまちづくり交付金の活用について

平成22年度から、元気な地域づくり活動を支援する交付金を創設。集落や自治会、住民団体などを対象に、行きいきと元気で暮らせる集落づくりや交流事業、地域資源を生かした地域活性化活動に対して上限20万円を交付しています。

現在、10団体から申請を受付け、合計132万2000円を交付決定しました。

活用についての相談窓口を役場企画政策課（電話72－0332）に気軽に相談してください。

▼地上デジタル放送への移行について

地上デジタル放送の円滑な

まちの今について説明を受ける参加者（黒坂会場）

資料を手に、各項目について説明を聞く（根雨会場）

移行を進めています。9月27日には、町内で2局目となる日野中継局（舟場）が放送を開始し受信エリアが拡大しました。早めの準備をお願いします。不明な点はデジサポ鳥取（電話０８５７－３３－４８００）に問い合わせてください。

また、町内の携帯電話が通じない地区が、鉄塔の整備により、おおむね解消。緊急時の連絡手段として携帯電話を活用ください。

▼地域資源を生かしたまちづくりについて

金持神社は年間20万人、また、オシドリ見学はシーズン中、約2万人が訪れる、まちの観光資源となっています。

このほか、宝仏山登山、たたらの楽校、黒坂鏡山城址、日野川のラフティングなど、自然や歴史などの地域資源を生かした住民の皆さんの取り組みが、まちの活性化につながっています。

▼インフルエンザ予防接種の個人負担について

従来は高齢者への助成だけでしたが、平成22年度から子育て支援対策として、若年者のインフルエンザ予防接種にも助成します。なお、65歳以上については、従来どおり一律１０００円の本人負担です。

▼地域保健活動について

平成22年度の新たな取り組みとして、保健師をはじめ、管理栄養士、健康福祉課職員が一体となって「健康教室」を行います。血圧測定や食事指導、未受診指導など住民の皆さんと会話しながら健康について考えていきます。問合せは健康福祉センターにお願いします。

▼生活排水処理について

快適な生活環境で暮らしていただくため、公共下水道や農業集落排水施設への加入を進めるとともに、下水道の整備が見込めない地域には合併処理浄化槽の設置を進めています。

多くの皆さんの下水道施設への接続、合併処理浄化槽の設置（助成制度があります）をお願いします。

▼橋の長寿命化修繕事業について

平成21年度から国の補助制度を活用し、橋の長寿命計画を策定。15㍍以上の状態の悪い橋から順次修繕工事を行います。

平成22年度は漆原橋、上菅橋、津地橋、根妻橋、八千代橋の修繕を行います。通行規制などご迷惑をおかけしますがご協力ください。

▼保小中一貫教育の推進について

町では、平成21年度から小中一貫教育に取り組んでいます。さらに平成23年度からは保育所とも連携し、保・小・中一貫した教育の推進を目指しています。

現在、健康福祉課が所管している「ひのっこ保育所」を、平成23年度から教育委員会に移管し、誕生から義務教育終了までの15年間を見据えた一貫した計画のもとに保育・教育を推進するよう準備を進めています。

▼生涯学習のまちづくりについて

町公民館では、平成21年度から「出前公民館」事業を始めました。昨年は述べ45回の開催で約８００人の参加者がありました。平成22年度も出前映画会をはじめ、料理教室、ニュースポーツなど多彩なメニューを地域の皆さんと計画していきます。

介護予防の「ぽかぽか教室」とも連携できますので、町公民館までご相談ください。

また、小地域座談会を全地域で開催していただきますようお願いします。

会場からの声 ～参加者の皆さんからの質問・意見など～

◆元気なまちづくり交付金の具体的な活用事例は

盆の帰省客のための竹灯籠の設置や手作りの敬老会、ソバ栽培やぽかぽか教室の開催、防災活動、歴史資源を生かした取り組み、歌声や銭太鼓で地域を明るくする活動、俳句大会などのグループ活動がありました。

◆歴史民俗資料館を修繕したが、今後の活用策は

老朽化した部分を修繕しました。来館者も少なく活用方法が課題です。建物自体が文化財であり、現在、活用方法を検討しています。

◆芝生化についてどのような考えを持っているか

津地の町運動広場の効果を見ながら検討しています。また、維持管理についても誰が行うかが課題と考えます。

◆耕作放棄地の対策は考えているか

耕作放棄地対策は、重要な課題として考えています。農地に復元できるところには補助金がありますし、農業の担い手や農林振興公社を活用しながら農地保全を行っています。

なお、農業相談を毎月 20 日に開き、農業に関するあらゆる相談を受け付けています。

◆獣害による農作物被害の対策について、教えてほしい

町では、有害鳥獣捕獲事業として、例年、町猟友会と委託契約を締結し捕獲をお願いしています。今後も農作物の被害を少なくするために、有効な手法などを検討していきたいと考えます。

このほか、高齢化対策など活発な意見交換が行われました。